

「福山駅前水辺公園プロジェクト」シンポジウム

市制百周年に向けて進められている「福山駅前整備事業」において385年前に水野勝成公が城を築いた当時そのままの外堀の石垣が出土しました。しかし、市の現計画では、これらの石垣は地下送迎場の建設に伴って壊される予定です。一旦、壊した文化財は永久に復元することはできません。今、私たちは、この機会に次世代に禍根を残さないまちづくりを議論するにあたり、シリーズ2回に分けてシンポジウムを開催いたします。参加は無料です。たくさんのご参加をお待ちしています。

第1回シンポジウム

「福山城の文化財を活かしたまちづくり」

日時 ▶ 11月11日（日）午後2時から

場所 ▶ 広島県立歴史博物館 講堂（地階ホール）

【パネリスト】

山下誠一郎氏

(株)エコアーキテクト代表、建築家、長岡造形大非常勤講師

<略歴> 東京大学工学部大谷研究室を経て、(株)丹下健三都市建築設計研究所

小西龍三郎氏

NPO法人 文化財匠塾事務局長 修復技術システム代表取締役

<略歴> 長崎市生まれ、東京大学工学部建築学科卒、九州産業大学建築学科教授を経て現職

田口義之氏

備陽史探訪の会会長、福山かえるの会議代表世話人、広島県行政書士会理事

<略歴> 多治米町在住、福山育ちの熱血漢『備後ゆかりの歴史人物伝』

『クローズアップ備陽史』など著書多数

★ 他の講師として文化財関係専門のジャーナリストを予定しています。

第2回シンポジウム

「福山城の魅力」

日時 ▶ 11月18日（日）午後4時から

場所 ▶ ふくやま文学館

講師 ▶ 広島大学大学院文学研究科教授・工学博士 三浦正幸氏

【プロフィール】

日本の古建築（神社・寺院・城・民家・近代建築）に関する文化財学で、全国でも数少ない文理科横断的研究を推進。天守の復元的研究、出雲大社や厳島神社などの国宝建造物研究、全国各地の社寺建築・町並・近代建築などの実地調査、文化財建造物の保存や城跡などの史跡の保存活用の研究などを行う。愛媛県・広島市・尾道市・東広島市・下関市の文化財審議会等委員、宇和島城・津和野城・原爆ドーム等の保存整備委員など多数兼任。

■ 著書

『城の鑑賞基礎知識』至文堂（1999）『復元大系日本の城』ぎょうせい（1992～93）『日本建築史基礎資料集成一社殿1』中央公論美術出版（1998）